

呉工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	電気数学Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号		0071		科目区分	専門 / 選択必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		電気情報工学科		対象学年	3		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		新応用数学(高遠節夫ほか 大日本図書)					
担当教員		服部 佑哉					
到達目標							
1. 複素関数の正則性を応用できる。 2. コーシーの積分公式・グルサの定理が説明できる。 3. 留数定理が応用できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		各種定理を使った複素積分が適切にできる		各種定理を使った複素積分ができる		各種定理を使った複素積分ができない	
評価項目2		留数の導出と留数定理を使った計算が適切にできる		留数の導出と留数定理を使った計算ができる		留数の導出と留数定理を使った計算ができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		電気工学は工学分野の中でもとりわけ数学を利用することが多い。本科目では、複素関数論の基礎的知識を身につける。					
授業の進め方・方法		重要箇所の解説後は、グループ学習等により、理解を深める。適宜、レポート課題もしくは発表課題を課す。					
注意点		教科書を納得するまで繰り返し読み、教科書の例題や演習問題を必ず解く。繰り返し解くことが重要。新型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する可能性があります。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	複素積分の導入		複素積分の必要性について説明できる		
		2週	原始関数を使った複素積分		原始関数を使った複素積分が計算ができる		
		3週	コーシーの積分定理		コーシーの積分定理の説明と計算ができる		
		4週	コーシーの積分定理の応用		コーシーの積分定理の多重連結領域への応用の説明と計算ができる		
		5週	コーシーの積分表示		コーシーの積分表示の説明と計算ができる		
		6週	グルサの定理		グルサの定理の導出と利用ができる		
		7週	問題演習				
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	答案返却・解答説明				
		10週	数列と級数				
		11週	テーラー展開とローラン展開		複素関数をテーラー展開できる 複素関数をローラン展開できる		
		12週	留数定理		留数の導出と留数定理を使った計算ができる		
		13週	実数関数の積分への応用		実数関数の積分への応用が計算できる		
		14週	問題演習				
		15週	答案返却・解答説明				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	数学	数学	数学	整式の加減乗除の計算や、式の展開ができる。		3	後1
				因数定理等を利用して、4次までの簡単な整式の因数分解ができる。		3	後1
				分数式の加減乗除の計算ができる。		3	後1
				実数・絶対値の意味を理解し、絶対値の簡単な計算ができる。		3	後1
				平方根の基本的な計算ができる(分母の有理化も含む)。		3	後1
				複素数の相等を理解し、その加減乗除の計算ができる。		3	後1
				解の公式等を利用して、2次方程式を解くことができる。		3	後2
				因数定理等を利用して、基本的な高次方程式を解くことができる。		3	後2
				簡単な連立方程式を解くことができる。		3	後2
				無理方程式・分数方程式を解くことができる。		3	後2
				1次不等式や2次不等式を解くことができる。		3	後2
				恒等式と方程式の違いを区別できる。		3	後2
				2次関数の性質を理解し、グラフをかくことができ、最大値・最小値を求めることができる。		3	後2

			分数関数や無理関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	後2
			簡単な場合について、関数の逆関数を求め、そのグラフをかくことができる。	3	後2
			累乗根の意味を理解し、指数法則を拡張し、計算に利用することができる。	3	後2
			指数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	後2
			指数関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3	後2
			対数の意味を理解し、対数を利用した計算ができる。	3	後2
			対数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	後2
			対数関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3	後2
			角を弧度法で表現することができる。	3	後2
			三角関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	後2
			加法定理および加法定理から導出される公式等を使うことができる。	3	後2
			三角関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3	後2
			三角比を理解し、簡単な場合について、三角比を求めることができる。	3	後2
			一般角の三角関数の値を求めることができる。	3	後2
			2点間の距離を求めることができる。	3	後3,後4
			内分点の座標を求めることができる。	3	後3,後4
			2つの直線の平行・垂直条件を利用して、直線の方程式を求めることができる。	3	後3,後4
			簡単な場合について、円の方程式を求めることができる。	3	後3,後4
			放物線、楕円、双曲線の図形的な性質の違いを区別できる。	3	後3,後4
			簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表すことができる。	3	後3,後4
			等差数列・等比数列の一般項やその和を求めることができる。	3	後10
			総和記号を用いた簡単な数列の和を求めることができる。	3	後10
			不定形を含むいろいろな数列の極限を求めることができる。	3	後10
			無限等比級数等の簡単な級数の収束・発散を調べ、その和を求めることができる。	3	後10
			行列の定義を理解し、行列の和・差・スカラーとの積、行列の積を求めることができる。	3	後10
			逆行列の定義を理解し、2次の正方行列の逆行列を求めることができる。	3	後10
			行列式の定義および性質を理解し、基本的な行列式の値を求めることができる。	3	後10
			線形変換の定義を理解し、線形変換を表す行列を求めることができる。	3	後11
			合成変換や逆変換を表す行列を求めることができる。	3	後11
			平面内の回転に対応する線形変換を表す行列を求めることができる。	3	後11
			簡単な場合について、関数の極限を求めることができる。	3	後5,後6
			微分係数の意味や、導関数の定義を理解し、導関数を求めることができる。	3	後5,後6
			積・商の導関数の公式を用いて、導関数を求めることができる。	3	後5,後6
			合成関数の導関数を求めることができる。	3	後5,後6
			三角関数・指数関数・対数関数の導関数を求めることができる。	3	後5,後6
			逆三角関数を理解し、逆三角関数の導関数を求めることができる。	3	後5,後6
			関数の増減表を書いて、極値を求め、グラフの概形をかくことができる。	3	後11
			極値を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。	3	後11
			簡単な場合について、関数の接線の方程式を求めることができる。	3	後11
			2次の導関数を利用して、グラフの凹凸を調べることができる。	3	後11
			関数の媒介変数表示を理解し、媒介変数を利用して、その導関数を求めることができる。	3	後11
			不定積分の定義を理解し、簡単な不定積分を求めることができる。	3	後5,後6,後11
			置換積分および部分積分を用いて、不定積分や定積分を求めることができる。	3	後5,後6,後11
			定積分の定義と微積分の基本定理を理解し、簡単な定積分を求めることができる。	3	後5,後6,後11
			分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の不定積分・定積分を求めることができる。	3	後5,後6,後11
			簡単な場合について、曲線で囲まれた図形の面積を定積分で求めることができる。	3	後12,後13
			簡単な場合について、曲線の長さを定積分で求めることができる。	3	後12,後13

				簡単な場合について、立体の体積を定積分で求めることができる。	3	後12,後13
				2変数関数の定義域を理解し、不等式やグラフで表すことができる。	3	後12,後13
				合成関数の偏微分法を利用して、偏導関数を求めることができる。	3	後12,後13
				簡単な関数について、2次までの偏導関数を求めることができる。	3	後12,後13
				偏導関数を用いて、基本的な2変数関数の極値を求めることができる。	3	後12,後13
				2重積分の定義を理解し、簡単な2重積分を累次積分に直して求めることができる。	3	後12,後13
				極座標に変換することによって2重積分を求めることができる。	3	後12,後13
				2重積分を用いて、簡単な立体の体積を求めることができる。	3	後12,後13
				簡単な1変数関数の局所的な1次近似式を求めることができる。	3	後10
				1変数関数のテイラー展開を理解し、基本的な関数のマクローリン展開を求めることができる。	3	後10
				オイラーの公式を用いて、複素数変数の指数関数の簡単な計算ができる。	3	後10

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	10	0	50
専門的能力	40	0	0	0	10	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0